カラー版 見てすぐわかる

【Dr.コパ】風水が教える

盛運の家づくり部屋づくり

建築家 小林祥晃

- 吉福の土地環境
- 開運の家相
- 幸せの模様がえ

取材協力一覧

㋐アールビバン	☎03-3407-3353
Ⓢ I.C.L. by Sazaby（プレスルーム）	☎03-5468-7312
㋑INAX	☎03-5381-1799
㊀大塚家具	☎03-5530-5530
㋔オーデリック	☎03-3332-1123
㋕ガレリア・プロバ	☎03-3403-1281
㋚サンゲツ	☎052-564-3314
㋝セトクラフト	☎0561-21-4121
㋶セラトレーディング	☎03-3796-6151
Ⓗ東急ハンズ渋谷店	☎03-5489-5111
Ⓘ東急ハンズ池袋店	☎03-3980-6111
㊮東リ	☎06-494-6605
㊔名古屋モザイク	☎052-953-2591
㊣西川産業	☎03-3664-3962
㊁ニチベイ	☎03-3272-2592
ⓌWHAT'S HAPPENING?	☎03-5467-1799
㊍丸井新宿インテリア館	☎03-3354-0101
㊕村田合同	☎03-3497-1341

風水が教える
盛運の家づくり・部屋づくり

著　者　小　林　祥　晃
発行者　桔　梗　　泉
印刷所　大日本印刷株式会社
製本所　大日本製本株式会社

発行所　〒104-8357　東京都中央区京橋3-5-7　株式会社　主婦と生活社
振替 00100-0-36364　電話 販売部 03(3563)5121(代)　編集部 03(3563)5280(代)

Ⓡ本書の全部または一部を無断で複写複製することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター（☎03-3401-2382）にご連絡ください。

ISBN4-391-11888-2 C0077

落丁、乱丁、その他不良本はお取り替えいたします。

© SACHIAKI KOBAYASHI 1996 Printed in Japan

【Dr.コパ】風水が教える
盛運の家づくり部屋づくり

建築家
小林祥晃

主婦と生活社

Dr.コパの風水が教える盛運の家づくり・部屋づくり——目次

4 まえがき

8 家相の基礎知識

9 PART 1 まわりの環境から吉運を呼びこむ法

17 PART 2 「住まい」と「風水スポット」開運方位の見つけ方

ケーススタディ

駅と家の関係……18

商店街と家の関係……20

高い建物と家の関係……22

学校と家の関係……24

志望校と家の関係……26

道路と家の関係……27

海や川と家の関係……30

公園と家の関係……32

33 PART 3 気をつけたい周辺環境

立地条件……34
庭や門……36
自然環境……38
日常生活……40
交通事情……44
集合住宅……46
神社・寺……48

49 PART 4
部屋別・開運レッスン
玄関……50
リビング……54
ダイニング……58
キッチン……62
寝室……66
サニタリー……70
子供部屋……74
ガーデン……78

81 PART 5
願いを叶える風水模様がえ
金運……82
健康運……86
愛情運……90
学力向上運……94
トラブル解消運……98
出世運……102

105 PART 6
開運のインテリア・グッズ
方位別・ラッキーカラー
西の黄色……106
東の赤色……108
北の橙色……110
南の緑色……112
ラッキーアイテムの選び方と飾り方
開運グッズのエッセンス……113
花&観葉植物……114
絵・ポスター……116
インテリア小物……118
家具……120
照明……122
内装材……124

126
あとがき

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

まえがき

住まい周辺の「環境」が持っているラッキーパワーをインテリアに生かしツキをアップさせよう！

こんなふうに書くと意外に思われるかもしれませんが、私、Dr.コパは「西に黄色」という風水の教えに従って土地を探し、風水の家相をベースに吉相の家を造りました。私が現在の家を買ったのは、西隣の家に夏みかんの木が植えられていたからです。もちろん、まわりの環境も静かでそれなりに気に入っているのですが、いちばん気に入っているのは、その夏みかんの木。風水の環境学では金運にあふれた吉相の土地だったのです。

「風水」は、環境開運学です。

私たちは環境に恵まれれば誰だって、実力を発揮して、幸福な人生が送れます。

環境の中でいちばん身近なのは、住まいの環境でしょう。風水は、三千年、四千年前に中国で考えられた「地脈占い」です。つまり、大地の中を流れる幸運の道・龍脈（りゅうみゃく）を探して、その上に吉相の家を建て、住むことで、生きている間の幸せが得られる。死んでも吉地に遺体を埋めて、その遺骨から子孫を幸せにするという、陽基（ようき）と陰宅（いんたく）という2つの考えによって構成される学問なのです。

中国や朝鮮半島、東洋の各都市、またヨーロッパ、アメリカにいたるまでの都造りに、この風水はたいへん貢献しました。

風水の正式名称は「風水地理」といいます。

地理というと、学校で私たちが習った、あの地理です。どこにどんな町があって、どんな川があって、どんな山があって、そして気温がどうで、産物は？　と習った地理は、じつはその土地が持っている癖、地球が持っている癖を勉強する学問だったのです。

その癖を知ることで、私たちはその土地の癖、つまり環境の影響を受け、その環境を吸収して生きているわけです。

私たちの衣・食・住の生活は、地球という大地によってもたらされた恵みから成り立っています。地球には太陽の光も当たりますね？　つまり私たちは、天と地の恵みの産物として家を造る材料、食べ物、衣類を作る材料を得て、この地球で生活しているのです。まさに、地球という星のパワーの恩恵を受けているわけです。「風水」とは、その地球のパワーの強弱、そして吉凶を知る学問なのです。

でも現在、私たちが龍脈を探し出したとしても、その龍脈にはすでに多くの建物が建ち、人が暮らしています。建物がなくても公園になっていたり、道路になっているというのが現状です。

そこでDr.コパの風水は、本来の風水、つまりその土地に龍脈が流れているか、という部分を一歩越えて、家の中に流れる龍脈を利用して住まいに活力を与え、その活力を、住人である私たちが寝ている間に吸収するというインテリア開運法を発表しました。

さらに、家相を建築家の目でとらえ、家相が本来持っている、住む人に優しく、安全で安心して暮らせるという本筋の部分と、占い家相の迷信の部分を鋭く分離しました。Dr.コパの風水家相という21世紀の住まいに対応する家相論を展開したのです。風水も、家相も、占いではないからです。

さて、私はこの本を書くために、名古屋のキャッスルホテルに泊まっています。私の住む東京から、名古屋は西方位の都市。平成8年の初めは、私の大吉方位が西だからです。つまり私は、平成8年の龍

脈は尾張にあると睨み、この本に風水パワーを注入しようと思っているのです。

文才のない私は、本を書くたびにいろいろな場所で書き始めます。つまり、その本にふさわしい龍脈を求めて移動するのです。周囲の自然や建物、建物から見える景色からパワーを吸収して、本を書き始めるのです。

そして、食べ物。平成8年は長い食べ物が開運食。昼には名古屋名物、地鶏入りの「味噌煮込みうどん」を食べて食事の段階からツキを上げます。ちなみに西方位は鶏肉とも相性がよいのです。

部屋の暖房は切って、エルメスのオレンジ色のマフラーを首にかけて原稿を書いています。なんとも似合いませんが、でもいいんです。オレンジ色は平成8年のラッキーカラー。この色を身につけて、ツキを体にまとわりつけて書いているのです。デスクにあるスタンドもやや黄色で、陶器製の台。西方位にピッタリなんですね。

このように、Dr.コパの風水は住まいだけでなく、衣・食・住のすべてに応用する環境開運学なのです。ほかにも遊びや旅行などにも応用ができ、これは風水的な考え方、心や哲学といってもいいでしょうね。まさに衣・食・住・遊・心が私の風水なんです。

私の風水がテレビやラジオ、雑誌などで次々に取り上げられるのは、それが生活のすべてに影響しているから。つまり、〝人間は周囲の環境に影響される〟ということなんです。

住まいやインテリアを吉相にすれば、よい方向に変わります。それに影響されて考え方が変わります。考え方が変われば、言動が変わってきます。言動が変われば、周囲のあなたに対する受け止め方や対応が変わります。そうなれば当然、出てくる答えも違ってきますね。

だから、風水のパワフルな作用があるのは、住まいという空間なのです。これが風水のいちばん大切なところです。

そして、住まい自体も地形や周囲の環境に影響されます。冒頭に書いたように、西隣にあった夏みかんの木に惚れて現在の土地に移った私は、周囲の環境に合った家を造ることによって、その土地からも

のすごいパワーを吸収し、幸せになることができるのを知っていたのです。

私はいままで、建築家として風水のインテリア開運法や風水術を披露してきました。でも周囲の環境にまで踏み込んで書いた本がありませんでした。

そこで今回は、周囲の環境と建物の吉凶について説きます。建物（住まい）の外の環境と、内部のインテリアに風水を応用してツキを呼ぶのです。

住まいの近くに公園がある場合と、川がある場合、そして高速道路がある場合では、当然、土地が持っているパワーが違います。また、東隣に高い建物があって、朝日が全然当たらない土地、また西隣に大きな建物があって西日が当たらない土地など、隣の環境ひとつとっても、やはり差が出てきます。しかし、インテリアを上手に使ってパワーアップができれば、周囲の環境を活かせるのです。

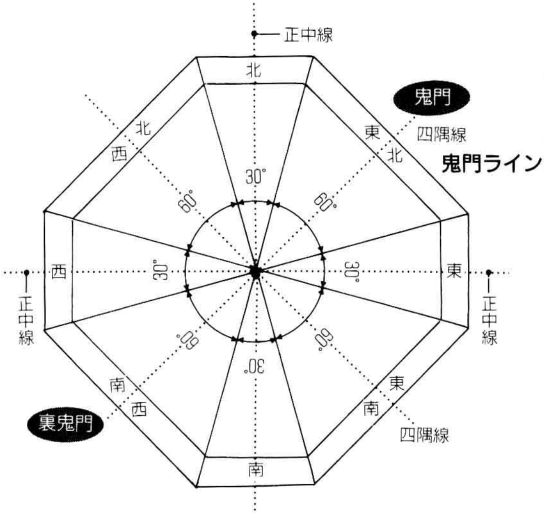
私の土地のお隣に植えられている夏みかんの木は、私の土地の西側にあります。その夏みかんのおかげで、ぐんぐん金運がアップしています。風の強い夜は、夏みかんの実が落ちてはいまいかと心配になります。ちょうど夏みかんが道路のほうまで枝を伸ばしているので、朝早く起きて、道路に夏みかんが落ちていればそっと拾い、一生懸命に水洗いをして、私の書斎の西側にあるデスクの上に置きます。笑ってください。

周囲の環境を含めて、インテリアを説いたこの本は、まったく新しい試みをしています。数あるDr.コパの本の中でも、出色なものです。

これから家を造ろうという方、インテリアを直そうという方、お部屋を借りようという方、幸運を呼ぶ環境のすべてがこの本によってわかるはずです。住まいは、私たちを幸せにしてくれる道具なのです。名古屋のキャッスルホテルで、名古屋城を眺めながら書き始めたこの本は、まさしく皆さんに大きなパワーを与えてくれるはずです。

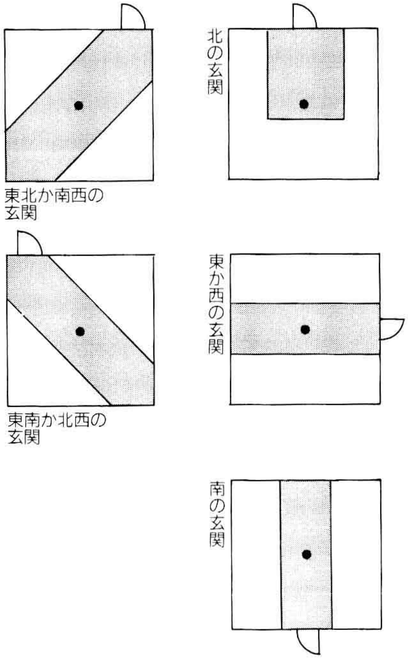
Dr.コパ　小林祥晃（さちあき）

家相の基礎知識



◉家相方位盤の見方

Dr.コパの方位盤は、左図のように、東・西・南・北の四正方位は30度、東北・東南・南西・北西の四隅方位は60度で考えます。中心を通って南北、東西を結ぶ線を正中線、東北と南西、東南と北西を結ぶ線を四隅線と呼びます。このうち、特に鬼門である東北と裏鬼門の南西を結ぶ線を鬼門ラインといいます。なお家相での北は磁石の北と同一です。地図上の北は西へ何度かズレています。



◉家の中のラッキーゾーン

風水では、大地を流れるステキな〝気〟の流れを龍脈と呼び、この上に家を建てることが幸せにつながるといわれます。家の中で、この龍脈にあたるのがラッキーゾーン。ラッキーゾーンは、玄関（部屋の場合は出入口）を入って、家の中心を対角線に抜けるラインです。これを玄関の位置別にわかりやすく図解すると左の5つのパターンに。北に玄関がある場合だけは、〝気〟が弱いため、向かいの壁まで届かず、約3分の2の距離のところで消えてしまいます。

ラッキーゾーンは、文字どおり「幸運」の気が強い場所ですから、このゾーンにいるだけで幸運の気のパワーを受けます。そして、ここにできるだけ長くいるようにすることがラッキーゾーンを上手に利用する基本です。

家の中心の出し方は、専門的にはむずかしいのですが、いちばんいい方法は、家の図面の輪郭どおりにボール紙を切り抜いて、コンパスの先にのせ、バランスがとれた点を見つけます。そこが家の中心です。四角い部屋の場合は、その対角線の交点が中心です。

Part 1

まわりの環境から吉運を呼びこむ法

今、あなたが住んでいる家は
まわりの環境から幸せを吸収しているでしょうか。
住まいは、常に、周囲の建物や道路、海、公園などから
さまざまな運気を受けています。
ここでは、住まい周辺の環境と風水についてお話ししましょう。
土地を探すときや、集合住宅を借りるとき、買うときに
参考にしていただきたい、ツキを呼ぶ環境学です。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

◉集合住宅は立地、外観、階数が重要

◉風水をみるDr.コパ

住まいは私たちのいちばん大切な、幸福になるための道具です。探すのにもつくるのにも暇がかかるし、お金もかかります。

ところで、住環境というのは私たちがすべてをつくり出せるものではありませんが、家を建てたら近所に公園があったという場合なら、環境が付随してきたと考えられますし、反対に、公園の近くの家に住みたいと思ってそんな土地や家を探したとすれば、環境をつくり出したと考えられます。最初の行動と考え方は違っても、結果として得た環境から受けるパワーは同じなのです。

ここで、「環境」ということについて考えてみましょう。ちなみに広辞苑で「環境」を引いてみると、「人間または生物をとりまき、それと相互作用を及ぼし合うもの」となっています。つまり、いちばん小さな環境が「部屋」で、次に大きいのが「家」、そして「近隣地域」「地方」「国」「地球」「太陽系」「銀河系」と広がっていくといえるでしょう。

いままでDr.コパは、風水を「環境学」ととらえて、「部屋」という環境についてはインテリア開運法を発表し、「家」という環境については建築家の目でとらえた家相論を展開してきました。そこで、本書では範囲をもう少し広げて、「近隣地域」という環境から吉運を呼びこむ方法を考えてみたいと思います。

まえがきでも少しふれましたが、私はなぜいまの自宅を気に入って移り住んだかをお話しして、幸せをゲットするための風水的な環境の選び方、考え方を伝授しましょう。

私は、20代のときから4か所の不動産を取得していますが、みなさんと同じように不動産を探すときは、予算的にはどうかとか、日当たりはとか、駅から何分、近くの商店街や学校、病院は……というような直接的な環境条件も十分に考えます。でも、選んだ決定的な理由というのは、実は、この土地や家

◉新興住宅地でも場所に陰陽がある

◉玄関先には草花を

が私に幸せをくれるかどうか、なのです。つまり、「この住まいに住んで、私や私の家族が幸せになれるのだろうか」――これが私にとっての住まい選びの最大のテーマなのです。

自分の買った不動産が相場より高いか、安いかということや、現在までに値上がりしたか、値下がりしたか、ということにも興味はありますし、心配もしますが、私はそれとは別に、この土地と家に、たとえば5000万円かかったとしても、それ以上の幸福、つまり運を、土地や建物、そして環境から吸収して、私や家族が幸せになったら、たとえ相場より高かったとしても安い買い物だと思うし、その後いくら値下がりしても、幸せなら、安い買い物をしたと考えています。現実に、バブルの時に目黒区の自由が丘に家を買ったのですから、いまでは価値が大きく値下がりして損をしていますが、でも、この4～5年の私の仕事ぶりからみると、この住環境がツキをくれたからでしょう、とても順調です。

反対に、どんなに相場より安く買っても、そこに住んでから不運続き、不幸続きなら、その住環境は高く買ったことになり「損した」といえないでしょうか。

◉近代都市にも風水がある

◉川は重要な風水スポット

◉散策中も、風水鑑定に余念がない

つまり、高いか、安いかは幸せにしてくれる環境か、そうでないかということなのです。

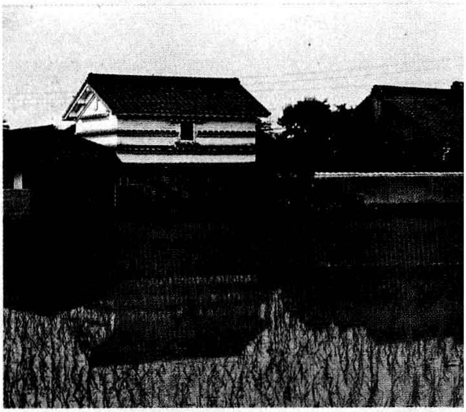
では、ローンだって、家賃だって「こんなにツイて幸せなら安い！」と思える住環境とは何なのでしょうか。実は、これを考えるのが風水なのです。

若い頃からそう考えてきましたから、私を幸せにしてくれる土地探しや家づくりのための風水学を実践してきました。建築家として、多くの方々の家を建築するとともに、土地探しのお手伝いや家のリフォーム、インテリア、家具選びのアドバイスをしてきましたが、住んで『幸せになる』『運を呼ぶ』『ツキを呼ぶ』が大きなポイントでした。

ですから、少し、普通の建築家とは違います。判断基準は、くどいようですが、「住まいでいちばん大切なのは、その家が私たちを幸せにしてくれるかどうか」なのです。

もちろんデザインも大切です。デザインがよくて私たちを幸せにしてくれる家がいちばんいいのですが、あくまでも運のいい家にすべきなのです。

私の育ちをお話しすれば、みなさんにも納得していただけると思いますが、祖父は宮大工の棟梁、父は宮大工で一級建築士、そして設計事務所の所長で



◉栄えた家には吉相がある

◉史跡の緑は借景に

あり、工務店の社長でした。こんな環境ですから、私は子供の頃から、一般の建築家の知らない家相や風水について、毎日父から教育を受け、そして育ってきたのです。

ですから建物を見ると、高いか安いか、デザインがいいか悪いかはもちろん感じますが、それ以上に、この建物は幸せにしてくれるか、この建物はまわりの環境からうまく幸運をキャッチしている幸運の入れ物になっているかどうか——そんなことばかりを考えてしまいます。散歩しているときでも建物に対する興味はつきません。

引っ越しをする、家を新築する際は必ず幸せになれるエリア探しを

あなたが土地を求めるとき、家を移るときに、必ず幸せになれる住環境の探り方の基本を、私を例にしてお話ししましょう。

予算的にどうかということも大切なことです。まず、私もこれを考えましたし、家内も心配しました。でも、これには個人差がありますので、金銭的なことについては、本書では割愛させていただきます。

次に大切なのは、地形です。地形によって、大地から受けるパワーに変化があるのです。風水は、「龍脈(大地の中を幸運のパワーが流れている場所)の上に吉相の家を建てて住むべし」という考えがありますが、見つけ出すのはなかなか大変です。

一般的には、なだらかな丘から龍脈が流れ始め、大地の中を川のように幸運の龍脈は流れていますから、龍脈が流れやすいところ、集まりやすいところは、ゆるやかな傾斜地やその周辺、という場合が多いのです。

目黒区の自由が丘もそんな地形だったのです。そして、私が見つけた土地は、お金に困らないように

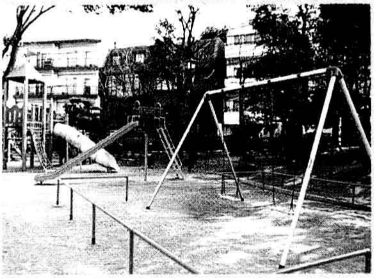
西に黄色い実のなる木がある、金運にあふれた土地だったので、ココダ！と思ったわけです。

従来から高級住宅地といわれているところ、または古くから町が栄えているところや、街道筋には、龍脈が流れている場合が多いのです。風水学など知らなくても、先人たちはココに住んだら幸せな生活が送れそうだ、と直感でとらえたのかもしれません。

次に考えることは、家を建てる、移転する方位の吉凶です。

これを第一に考えると、龍脈の流れている吉地を見つけやすくなります。今まで知らなかったり、気にしていなかったあなたも、今後は、家を買ったり、

◉大きな公園の風水パワーは大



◉住宅地の公園は吉

マンションを買ったり、部屋を移ったりするときに、移転する方位を大切にしてください。風水では、吉方位に移動することによって、大地から吉のパワーを吸収しやすいのです。凶方位だと吸収しにくかったりします。私が自由が丘に移ったときも、もちろん吉方位で考えました。

そして、道路付けも大切ですね。

道路が東・西・南・北のどちらにあるのか、ということも大切です。幸運は、道路を通ってあなたの土地に入ってくるからです(28〜29ページ参照)。

次に、前面道路の幅。

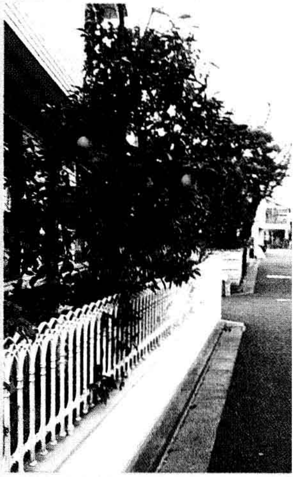
前面道路の幅は、一般住宅なら4m〜8mくらい。あまり広すぎるのは、よいとはいえません。たとえば幹線道路よりは、4m〜8m幅の静かな道路が住宅には向いています。また、曲がりくねった道路、狭すぎる道路、突きあたりの道路は、道路付けとしてはあまりよいとはいえません。

そして、敷地の形は正方形や長方形がよく、道路からの高低差も2m以下くらいです。上がっても下がっても、これくらいが吉相の限度。もちろん、道路から下がるよりは、上がったほうがよいと考えます。隣地との高低差も考えられます。それも2mぐ

◉古い街並みは吉地が多い

◉龍脈に建つ瀬田玉川神社

◉町中には吉相のシンボルがあちこちに



らいまでと考えてください。日当たり、上下水道を含めた排水など、一般的な条件は当然のこと。

学校や買い物、通勤、通学が、あなたにとってピッタリかどうかも考慮に入れますが、それより大切なのは、土地自体の履歴です。元々は畑だったのか、林だったのかとか、前に住んでいた方にどういうことがあったのか、移動する原因になったのは何であったのか、などです。

いま、どんな環境であろうと風水術で幸運の住まいに変えられる

さて、住宅を建てたり、マンションを買ったり、部屋を移ったりするときに、どんな探し方をするのか、おわかりいただけたと思います。

あなたがいまの家を探すときは、どうでしたか？そして、住んでいる家の周囲はいかがですか？

でも、どんな環境であろうと、その環境のよい部分を利用して、悪い部分については風水的な処理で凶意を弱めてしまおう、というDr.コパの本ですから、あなたがいま、どんなところに住んでいようが、どんなまわりの環境であろうが、安心してください。

わが家だって、前面道路は行き止まりの狭い3m

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com